

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ミーティングで理念の唱和と、いつでも確認できるところに掲示し職員全員が周知、共有することで実践につなげている。			当該理念を日々のミーティングで唱和し再確認、職員間での意識づけを図り理念の浸透を図っています。毎年度定期的に評価され、その対応策が次年度計画に反映され、理念実現の為の取り組みとしています。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染対策しながら地域の小学校の運動会を見学に行ったり、施設での様子は回覧板にて発信し、地域との関係性が途絶えない様努めた。	コロナウイルスが5類となり、小学校の運動会の見学に行くなど、徐々に感染症流行前の状態に戻ってきていて良いと思う。又、施設での様子を回覧板にて発信し、地域との関係性が途絶えない様努めていて良いと思う。		新型コロナウイルスが5類となった事により、地域行事への参加も徐々にできるようになり、地域の方との関係性が途絶えないよう、施設での様子を回覧板にて発信としています。地域住民と接する機会があれば挨拶の励行に努めています。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの対応が緩和になったため会議を開催し、利用者の状態報告やサービスについて話し合い、そこでの意見をサービス向上につなげている。	会議でないと言えない事もあり、顔を見て話す事で施設での様子や地域での様子が確認できる。感染状況を見ながらとなるが、会える機会があれば繋がりが良いと思う。		新型コロナウイルス等の感染症の状況を把握し、感染防止対策を講じながら出来る範囲で開催し、関係性の継続を図っています。そこで頂いた意見をサービス向上につなげています。開催が中止となっても、書面でのやりとりとしています。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアサービス等都度、市町村担当者に報告、指示仰ぎながら連絡、連携としている。西部包括センターとも情報共有し協力関係を築いている。	市町村担当者にケアサービス等都度報告し、指示仰ぎながら連携。西部包括センターとも情報共有し協力関係を築いていて良いと思う。		運営状況の報告や確認事項について、日頃から行政担当者と連絡を取り合っています。サービスに係る相談については、法人内に包括支援センターがある為、連絡を取り合い相談しています。これからも繋がりを継続し、社会福祉協議会及び民生委員との連絡も取り合う体制継続に努めていきます。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会や会議等で身体拘束について勉強し、職員全員が周知、実践している。法人全体でも身体拘束しない宣言をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回開催し、不適切なケアについて話し合い意識しながらケアに繋がっています。虐待に繋がってしまう恐れがある、グレーゾーンについても意見を出し合い不適切な場面があれば、職員間でケアの見直しや事例検討を行い、改善や日々の気づきに繋がっています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待について研修や会議、勉強会で学ぶ機会を設け、職員全員が理解を深め虐待防止に努めている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	業務が立て込んでしまうと、心に余裕がなくなり不適切な対応となりやすい為、お互いに声を掛け合いフォローし合っています。又、業務内容についても都度話し合い、ストレスを溜めないような環境づくりに努めています。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会議や勉強会にて学ぶ機会を設け理解している。現在利用している方はいないが、都度活用できるよう情報提供に努めている。			権利擁護について学習する機会を計画し取り組んでいます。身寄りのない(家族と関係性の薄い)入居者に対する支援について運営に反映できています。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居や退居時、改定になった際はその都度家族に説明とし、理解、納得を得ている。			今後も制度や報酬改定による重要事項説明書の変更があった際には、時間的余裕を持たせ、本人及び家族が納得できるよう個別説明を行っています。不安な点や疑問点の聞き取りを行い、解消出来るような説明と対応を行っていきます。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時、ピノッ郷通信に担当職員よりコメントや状態報告し家族からの意見や要望を出しやすい環境としている。利用者へは会話の中で意見や要望を聞き対応している。又、玄関に苦情箱設置している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重要事項説明書に明記している、苦情相談窓口について契約時に説明を行っています。ケアプラン見直し時には、家族からの意見や要望をいただき、年1回懇談会形式でも忌憚のない意見や要望を抽出できるよう努めています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、会議等開催できない事もあったが、代表者がその都度意見や要望を聞き業務に反映する事ができている。			代表者は事業所会議に定期的に参加しており、ホーム管理者及び従事者の意見や提案を聞く機会を設けています。管理者はプレイングマネージャーとしての役割を担っていますので現場の意見はダイレクトに運営に反映されやすい仕組みになっています。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課等で実績や努力、勤務状況等把握し向上心を持って働けるように職場環境や条件の設備に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課は、目標管理システムとなっており、育成面談(年2回実施)の際に人事考課を通して、ひとりひとりの課題を明確にしながスキルアップの為の向上心に繋がり、定昇及び賞与に跳ね返る仕組みになっています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染対策が緩和となつてから、外部研修を受ける機会もあり、内部研修は職員のケアの実際と力量に合わせた内容でリモートにて受けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内研修はすべての職員が参加する機会があり、外部研修についてはキャリアパスに沿って参加できるように整えています。又受講後は、復命書や会議の場を利用し、他職員に周知できるように努めています。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、資料にて勉強する機会が多く、交流する機会を設けることが出来なかった。			新型コロナウイルス感染防止の為、交流する機会が少なかったが、5類となり対応緩和となつたため、以前のように地域包括支援センターが主催する地域ケア会議に参加したり、地域の同業者と交流を図っていき、サービスの質の確保に取り組んでいきます。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	都度本人の立場に立って考え生活の場でお互い協力し助け合う事ができている。			暮らしの継続を重視しており、入居前の暮らしをできる限り継続できるよう、支援しています。又共同生活での役割を担って、他者と協力し助け合えるよう環境づくりに努めています。生活面・医療面共に家族を交えて、定期的に相談・面談を行い、職員のみで判断するのではなく、家族へ相談・報告を必ず行っています。受診や行事等も、家族に参加していただく等協力体制の下で、本人の生活を支援しています。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスも5類に移行となり、デイサービスへ馴染みの人と交流をしたり、条件付きでの面会や外出が可能となり、関係性が途切れないよう支援していたが、感染状況により急遽中止となったりすることもあった。	時間を決め、感染対策しながらの面会であっても、知人に会う事は楽しみである。感染状況を見ながらではあるが、馴染みの人との関係が途切れないよう支援に努めていって欲しい。		入居時のアセスメントで、本人にとって馴染みの場所や人、趣向等の情報把握に努めています。新型コロナウイルス5類となり、対応緩和となった為以前のように面会や外出など、感染状況を把握しながら、関係性が途切れないよう支援していきます。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	都度本人の好みや意向を確認、またマンツーマン対応にて思いが表出できる様な機会を設けている。			入居前本人、家族、在宅時の介護支援専門員等から、生活歴や既往歴、趣味嗜好、暮らし方の希望等について聞き取り、思いや意向を把握しています。入居後は事前面談で得られた情報を基に関わりながら、言動や表情から今の思いの把握に努めています。会話の中で得られた情報、職員の気づきは申し送りや個人記録等を活用し情報共有しています。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的又は状態変化時都度、本人、家族の意向確認、状態に合わせモニタリング、再アセスメントし、各関係者とカンファレンス行い介護計画を作成している。	本人、家族の意向を都度確認しながら、必要な関係者と話し合い、モニタリングに反映させ、現状に即した介護計画を作成している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居後は環境変化により心身状況が変化しやすい為、経過をみながら再びADL・IADLの情報を収集し、現在の心身状態を把握した上で、カンファレンス・モニタリング会議を開催し、ニーズや本人の心身状態について再アセスメントを行っています。介護計画の見直し時には、家族と介護計画の内容について話し合い、本人及び家族の意見・要望を取り入れながら本人主体の介護計画となるよう心掛けています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中夜間共に各職員が気付いた事やケア実践の様子等を個別記録に記入。職員間で共有しながらより良いケアの見直しを図り介護計画へ繋げている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の身体状況や認知症状の変化に留意し観察を行い、個別の記録に記入しています。随時、アセスメント結果と個別の記録を基にケアカンファレンスにて、介護計画の検討・見直しに活用しています。認知症による周辺症状が著しい方については、より具体的に記録し、適切なケアに繋げる部分で活用しています。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナの社会情勢対応に合わせ、より良い形で面会出来るよう場所を設け面会を実施したり、感染症対策しながら居室での面会を可能にしサービスに努めた。	5類に移行後は、感染対策を取りながら徐々に以前同様の居室での面会などを可能にし、サービスの多機能化に努めた。		その時々ニーズに対応し、必要な方に医師による訪問診療、訪問歯科、薬剤師による薬剤指導、医療連携加算による訪問看護等、必要なサービスが提供できるように取り組んでいます。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	広報等で情報を発信。運営推進会議にて情報の共有、活用としている。近隣小学校運動会見学参加等、地域交流しながら支援としている。	松山荘より広報となりぐみ、グループホームよりピノッ郷通信が家族や町内会へ回覧となっている。暮らしを楽しむことができるよう情報提供に努めた。		5類に移行となり、地域との交流が増えつつあるが、今後は本人の意向で地域の公園等への散歩、買い物、地域町内会への行事参加等を通し、地域との一体感ある支援に努めていきます。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	受診状況に応じて本人、家族の意向確認しながら、かかりつけ医受診の支援、主治医へ細かな状況報告、共有、連携しながら適切な医療が受けられるよう努めている。			入居時に事業所の協力医療機関との提携について説明し、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただくようになっています。利用者の健康管理については、同法人内の看護師との連携を密に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えています。日頃からの健康状態や受診結果の情報は、都度家族へ報告、適切な処置・支援が行えるよう努めています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際は、医療機関へ迅速に情報提供を行い、家族や担当ケアマネ共に情報共有、連携を図っている。入退院の状況に応じて細目に連絡取りながら、適切な対応が出来るよう支援としている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族・医師とカンファレンスを行い、事業所で出来る対応を話し合い、早期退院が出来るよう取り組んでいます。入居者が入院された場合には、状態の経過把握をすると共に、病院や家族から情報をいただき、退院後のホームでの対応を検討し、受け入れ体制を整えるようになっています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事前に重度化した場合や看取りの方針を文書と対面にて説明、本人・家族の意向確認。法人での協力体制として、嘱託医や連携看護師の24時間体制を整えている事も説明し理解を得ている。地域連携室や担当ケアマネ等と検討しながら本人に合わせたケアが出来るよう支援体制づくりをしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に重要事項説明書に明記している重度化・看取りに関して説明し、事業所で対応できることについて明確化しています。状態変化が生じた際には家族と面談の機会を設け、終末期における希望を再度確認し、具体的な援助方法について検討する機会を設けています。看取りを希望される場合は地域医療と協力し終末期支援を行っています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に利用者の急変や事故等発生時を想定した訓練やシミュレーションを行い、対応出来るよう実践力を身に付けている。緊急連絡体制の周知徹底に努め、ピノッ郷会議で勉強会も行い、併設の看護職員や、法人の看護職員との連携体制も整っている。			症状別の初期対応について、定期的に勉強会を行い、気になった所があれば都度職員間で話し合っています。緊急時や事故対応マニュアルが備わっており、速やかに対応できる体制にあります。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害対策として、火災や災害のシミュレーションを実施している。また年2回総合消防訓練を行い、昼夜問わず全職員で避難方法を身に付けている。また、地域との協力体制も築いている。	ピノッ郷は二階なので水害の心配はないが、西風がすごい。火災訓練だけでなく災害の訓練も徹底して行っていきたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度は感染症拡大防止の為、事業所のみで災害訓練を行いました。以前までは地域の消防団や近隣住人、家族と共に夜間を想定した避難訓練を行っていた為、来年度は実施出来るよう努めていきたいと思っております。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人一人の人格を尊重し、その人にあった声掛けを行い、不快な思いや不安とならないよう対応行う。相手の立場に立ちプライバシーに配慮した対応を努めている。グレーゾーンになるような、態度等は会議等で注意を促している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの意思や人格を尊重し、自尊心を傷つけないよう言動や対応に十分留意しながら対応しています。又、自己選択の機会が持てるようにし、個人情報や守秘義務についても周知徹底しています。居室への入室、排泄支援を行う際には、プライバシーや羞恥心に配慮して対応しています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の毎日暮らしてきたペースに沿って生活できるよう希望や意向を尊重し支援を行っている。本人が今までやって来たことを出来る限り継続して行えるよう環境づくりに努めている。			業務優先になりがちがある為、利用者主体の生活ペースを尊重し、全職員で確実に見直しケアにあたっていきます。入浴は出来るだけ希望の時間、回数で対応を行っています。活動の場へ誘導する場合も強制せず、自己選択ができるよう努めています。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為、現在は食事を利用者と別々に食べている。行事や誕生会は利用者の希望に沿ったものや季節の物を栄養士へ報告し献立を立ててもらい、季節感や雰囲気を感じてもらい楽しんでもらえるよう提供している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事は生活において楽しみの一つであることから、季節を感じてもらえる献立や、個々の状態に応じて刻み食等、完食できるよう対応しています。安全・衛生面に配慮しつつ、食事の準備や片付け等を個々の能力に応じて一緒に行うことで残存能力の維持に繋がっています。徐々に以前のように、一緒に食事をとれるように努めていきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	調理方法が変更となり、業者の方で献立を作成、法人の栄養士のからは、毎月栄養管理に関する助言や指導を受けている。又、水分不足とならないよう水分量を毎回、記録し把握。水分不足気味の方へはこまめに水分摂取出来るよう声掛けを行い、水分を提供している。			食事や水分摂取量、体重やBMI等の測定、体調や健康面から見た栄養補給等、栄養士と連携取りながら今後も対応継続していく。食事摂取量の記録を基本にカロリーコントロール、嗜好の有無でバランスを考え、主治医の指示で代替品の提供により栄養を補い、低栄養、脱水のないよう支援しています。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が口腔ケアの必要性を理解し、毎食後の口腔ケアの介助や声掛けを行っている。歯科医師からは毎月、口腔管理に関する助言や指導を受けている。義歯の破損等があれば歯医者へ連絡し、往診や治療を受けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科医、歯科衛生士の指導を受け口腔ケアを実施しています。また、一人ひとり個別に対応し、残存機能を活かしたケアを行っています。夜間は義歯を管理し、洗浄剤を使用して衛生管理を行っています。身だしなみの一環として、社会性や気持ちよく過ごして頂く為に、口腔ケアの重要性を全職員で意識していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄のパターンに合わせ、トイレ誘導の声掛けをし、自立に向けた支援、便秘の予防では起床時に牛乳等を提供し予防に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も個々の排泄パターンの把握、時間やタイミングを見計らい声かけによるトイレでの排泄に努め、自立に向けた支援を行っていきます。失敗を減らせるよう、カンファレンスやモニタリングで支援方法を検討しながら、パッドや紙パンツは最低限の使用となるように取り組んでいきます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴の日は声掛けし、希望やタイミングに合わせて入浴を行い、又楽しめるように支援している。			週2回の入浴を目安としていますが、入浴日や時間は本人の希望を尊重しながら、柔軟に対応しています。安全安心に入浴していただく為、入浴前にはバイタルチェックと本人の希望を確認した上で入浴を促すようにしています。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夜間安眠できるよう日中適度に疲労感を得られるよう、活動を支援している。体調に合わせて参加して頂き、状況に応じて休息してもらっている。			入居者個々の睡眠パターンを把握し、日中の臥床時間を調整、昼夜逆転気味な方にはできるだけ、活動時間をとっていただくよう支援しています。室温や寝具等の環境を整えながら、休息や安眠が出来るように支援しています。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの内服を管理し、用法や用量を理解している。内服に変更があった際は、職員全員で確認、把握し状態観察を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬表をファイリングし、職員がいつでも確認できるようにしています。効能や副作用の他に医師からの注意点、助言があれば記載し、状態観察の指標の一つにしています。又、大きな症状の変化等がないか観察を行い、気になることがあれば適宜、連携看護職員や主治医に相談しています。日々の服薬支援については、ヒューマンエラー防止の為、職員複数名で一人の入居者に関与し、飲み忘れや誤飲がないように努めています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為他者との交流も減ったが、5月より5類となり個々の能力に合わせて、洗濯量や干し、床拭きなど役割を持てるように支援している。	喜びや張り合いのある日々を過ごせるように役割として日常的な手伝いを支援したり、美味しい物を食べる事で達成感や楽しみを持てるよう支援した。		洗濯量や干し、床拭きなど役割がある事、利用者の楽しみを理解し、冗談が好きな方や歌が好きの方に張り合いあるよう支援をしています。新しい事を提供することで、次への意欲に繋がるよう支援しています。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染防止の為外出行事は控えてきたが、5類となり買い物やドライブ外出の支援ができています。	今年に入り、ようやく買い物外出が出来喜ばれていました。感染防止に努め、状況に合わせた対応をしながら気分転換を図れた。		5類となり、買い物やドライブ外出の支援ができるようになったが、感染症拡大防止の為、人が密集する場所への外出は自粛していました。今後は、感染対策しながら、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援していきます。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	所持できる人には所持してもらい、訪問販売の時は買い物できるよう支援している。			本人の生活用品等の買い物について、できるだけ陳列棚から商品を手にとって選んでいただくよう支援しています。また、有する能力に応じて本人に会計をしていただくよう支援しています。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	必要時に応じて電話が出来る様に支援している。家族から手紙を受け取り安心につなげるよう支援している。			要望に応じて、事務所内にある電話を使用いただいています。希望があれば手紙や年賀状が出せる支援をしています。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	安全かつ自立した生活を営めるよう、建物内部に手すりを設置、個々の能力に合わせたベットの設置などの工夫をしている。また、リビング内には利用者の目線の位置に日めくりカレンダーや季節ごとの装飾をし、生活感や季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有空間は天窓が設けられ、明るく開放感のある空間になっています。家庭らしさを大切にする為、さっぱりとした居心地よく過ごせる空間になっています。また、利用者が安全・安心して生活出来るよう動線を考慮しながら家具等を配置しています。居室、トイレが分かりやすいように、目印を付け自立支援に努めています。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃より、思いや願いは、ケアの中で聞き出すようにし、チーム間で情報を共有し、可能な限り意向に沿えるようにしている。			日々、日常的な意向の確認を行い、可能な限り意向に沿えるよう対応しています。認知症状が重度かつ意思疎通が難しい方については、表情や心身の状態を観察し対応としています。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居の段階で生活歴や友人関係などの把握に努めている。暮らしの習慣は継続できるように支援はしている。友人関係は途切れることがないよう交流の場を設けている。			入居時及び事後アセスメントを定期的実施し、入居以前の暮らし方にできる限り近づけるよう、又趣味・嗜好等の情報収集し、入居前の生活や人とのつながりを継続出来るように支援しています。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々のバイタル測定や定期的な医療受診、また法人内の看護職員と連携を取り、健康面等に配慮された支援を受けられている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居以前から担当している医師との関わりを尊重する為、本人の希望に沿った上で入居後も継続しています。心身状態により日常生活に支障が生じないよう、起こりうるリスクを予見し排除する為の話し合いを定期的に行い、対応策を実施しています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の暮らしの習慣を把握し自分のペースで過ごせるよう意向を伺いながら、家事仕事や新聞を読む時間を設けている。			共同生活の趣旨から、施設の定めた日課になってしまいがちですが、その中でも個々の生活習慣やペースを尊重したケアを意識し、以前の暮らしができる限り入居後も継続できるように、一人ひとりに合わせたケアを方針としています。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅で使い慣れた茶わんなどを持参してもらったり、自室内でも馴染みのものを使用できるよう持参をお願いしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前の暮らしの環境で使用していた什器(家具や仏壇、お皿、お椀等)の持ち込みを推奨しており、家に居た時の馴染みある物を持ち込んでもらうように働きかけています。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス5類に伴い、意向や希望を伺い外出の機会を設けたり、外出行事を企画し参加してもらっている。	意向や希望を伺い、外出の機会を設けたり外出行事を企画したりと対応。今後、感染状況見ながら町内の行事にも参加していけたら良いと思う。		・戸外に出かける希望や意向が聞かれる事が少ない為、職員で企画し入居者様の反応が良かった物や喜んでいた物等を企画、提供していきたいと思えます。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	それぞれに合った活動(パズルや塗り絵、脳トレ)等を本人の意向を確認したうえで提供とし、他入居者と交流を図りながら行う事ができている			アセスメント時に、「できること」を抽出。能力に合わせた役割や余暇活動を提供し、本人の意向に沿って施設内での入居者それぞれに役割を担っていただき、本人らしさを追求しています。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	軽作業を(テーブル拭きや洗濯干し、畳み)を自分の役割として行ったり、活動時は他者が行っているパズルを見たり、コミュニケーションを図り、交流を楽しむなどそれぞれ、いきいきと活動できる時間を過ごすことができる		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	余暇活動では、個別の趣味活動を支援いきいきした場面作りを行っています。又、グループ活動も取り入れる事ですべての入居者が活動に参加する場が提供され、活躍してもらえる場面作りを行っています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの対応が緩和になり、デイサービスでの人々との交流をすることができているが、地域との関りは少なかった。	デイサービス利用されている知人との交流はできているが、地域との関りは少なかった。隣近所の方の面会はなかった。		感染症流行により、地域との交流する場が無くなっていたが、徐々に緩和されています。地域の方とどのような方法で関わっていくのか、代わる方法を検討する必要性があり、その取り組みを1つでも多く実現出来るように検討をしていきます。
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスが5類となり緩和されてはいるが、完全に安心ではないため、地域との交流は少なかった。安心して過ごせるよう、職員や他者との交流を多くし、信頼関係を築けるように努めた。	地域との交流は少なかったが、安心して過ごせるよう職員や他者との交流を多くし、信頼関係を築けるように努めた。今後もサービスの質の向上に努めていきたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者それぞれの表情や言動から、生活の豊かさが感じられ、事業所の理念の実現の為にも、安心した生活が送れるよう努めています。又、入居者、ご家族の意向を元に、より良いサービスが出来るよう職員一同取り組んでいます。